

新潟県再エネ電力等移出地域評価モデル第1回研究会 議事概要

日時	2023年8月22日(火) 15:00~16:45
議題	1. あいさつ 2. 内容 (1) 本事業の背景・趣旨 (2) 新潟県再エネ電力等 移出地域評価モデルの調査・検討内容について(非公開) (3) 検討内容に関する意見交換(非公開)
資料	資料1 第1回研究会_名簿 資料2 事業趣旨と背景 資料3 新潟県再エネ電力等移出地域評価モデルの調査・検討内容について(非公開)

(以下、敬称略)

【議事概要】

- 事務局から、本研究会における検討内容の背景・趣旨及び、電力移出に伴うCO<sub>2</sub>カウントモデルの考え方、地域にとってのインセンティブの調査事例の方向性について説明し、委員からコメントをいただいた。
- カウントモデルについての主な委員意見
  - ・あまり特殊な計算はせずに、他県でも普遍的に計算できる手法がよいのではないか。
  - ・電力の移出先が正確にはわからない中でも、現状、将来含め公共機関が開示するデータなどを用いて発電所毎の送電先を解析し、ある程度、移出先を推定できるのではないか。
  - ・新潟県が単独で再エネ電力使用量や移出量を算出することにどのような意味があるのか。仮に、自県の電力はCO<sub>2</sub>排出が少ない電力だと一方的に宣言したところで、周囲の賛同は得られるのか。
- インセンティブ調査委事例についての主な委員意見
  - ・地方自治体にインセンティブを付与する必要性について、説明が必要ではないか。
  - ・再エネ電力の創出によるCO<sub>2</sub>削減について、経済的インセンティブだけでなく、自県の削減分としてカウントできるようにすることもインセンティブの1つであり、そうした視点が必要ではないか。
  - ・インセンティブとカウントモデルとリンクさせて説明することが必要
- いただいたコメントを踏まえ、カウントモデルやインセンティブの制度設計について調査・検討を進め、年度内に2回の研究会を経てとりまとめ予定。